

直営向け港湾の施設の点検診断及び維持管理計画策定ガイドライン検討委員会について

令和元年11月6日

国土交通省 技術企画課

背景

国土交通省のインフラ長寿命化計画（行動計画）では、工程表の項目（点検・診断、個別施設計画の策定等）について、令和2年度迄に100%完了させることを目指しているが、現状では厳しい状況である。点検・診断や維持管理計画の策定が進まない理由として、港湾管理者の人員・技術力不足や予算確保が厳しいことが挙げられている。

しかし、維持管理計画により計画的な点検を実施しなければ、適切な時期に適切な老朽化対策を実施できずに事後保全的な対応となり、さらなる人員や予算の不足を招く結果となる。

一方で、現状の点検診断ガイドラインや維持管理計画策定ガイドラインは、港湾施設全体について確実な維持管理を行うことを目指したものであり、理想的ではあるものの、港湾管理者の実情を十分に考慮したものとは言いがたい。

このため、港湾施設の重要度、利用頻度、人命等への影響などを考慮し、職員が直営で維持管理計画書の策定、定期点検診断が実施できるように、ガイドラインを見直しする必要がある。

設置趣旨

港湾管理者の人員・技術力不足や予算確保が厳しいという現状の中で、港湾の施設の点検診断及び維持管理計画ガイドラインの効率的かつ効果的な運用を可能とするため、有識者による「直営向け港湾の施設の点検診断及び維持管理計画策定ガイドライン検討委員会」を立ち上げ、検討を行うものである。

併せて、既存のガイドラインに明示されていないICT点検用の劣化度判定基準（案）及び維持管理計画の更新の考え方についての検討も行う。

検討委員会の構成

	氏名	所属・役職	備考
委員長	岩波 光保	東京工業大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系 教授	
委員	加藤 絵万	港湾空港技術研究所 構造研究領域 構造研究グループ グループ長	
	大野 正人	一般財団法人 港湾空港総合技術センター 建設マネジメント研究所 専務理事	
	小森 雅彦	高知県 土木部 港湾・海岸課長	港湾管理者
	佐々木秀郎	苫小牧管理組合 専任副管理者	港湾管理者
	藤田 亨	国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 所長	

主な検討項目

- ◎直営作業を前提とした「点検診断ガイドライン【運用書】（案）」及び「維持管理計画策定ガイドライン【運用書】（案）」を施設の種類、規模、利用度、重要度等を考慮して検討する。
- ◎既存のガイドラインに明示されていないICT点検用の劣化度判定基準（案）について検討する。
- ◎維持管理計画の更新の考え方について検討する。

スケジュール（案）

- (1) **第1回検討会** 令和元年11月6日（水）
 - ①既存のガイドライン運用上の課題の整理
 - ②直営向けガイドラインのあり方の検討
- (2) **第2回検討会** 令和元年12月上旬頃
 - ①点検診断ガイドラインの運用に関する検討
 - ・直営向け点検診断ガイドライン【運用書】（案）の素案
 - ・ICT点検用の劣化度判定基準（案）の検討
 - ②維持管理計画策定ガイドラインの運用に関する検討
 - ・直営向け維持管理計画策定ガイドライン【運用書】（案）の素案
 - ・維持管理計画更新の考え方（案）の素案
- (3) **第3回検討会** 令和2年1月下旬頃
 - ①直営向け点検診断ガイドライン【運用書】（案）の作成（取りまとめ）
 - ②直営向け維持管理計画策定ガイドライン【運用書】（案）の作成（取りまとめ）